

# ものづくり探訪

## 4

今月は  
株式会社齋藤農機製作所



本社工場

産業クラスター創造事業  
さかた技術者ネットワーク構成員  
開発技術部  
金子 真之さん



平成22年6月に設立された「さかた技術者ネットワーク」。市内企業の若手技術者で構成されるメンバーが、企業が持つ優れた技術力や製品を紹介します。

### 農業機械を自社で開発・生産

当社は農業機械の開発から、製造、販売までを自社で一貫して手掛けています。地元企業では数少ない完成品メーカーです。

多様化する現在の農業に対応し、従来からの稲作用製品に加えて、大豆コンバイン、ニンジン収穫機、畦畔草刈機、直播機などの多様な製品を開発、生産しています。

### 農家の重労働を軽減

私自身が開発を担当した最近の製品に、法面草刈機があります。法面（斜面）の草刈り作業は農家の方々にとって重労働です。これを軽減するには自走式であること、安全で能率が良いことが求められます。このため、進行方向に応じて刈刃の傾斜角度を変え、刈った草の排出を良くするなどの工夫を取り入れました。

単なる思い付きがそのまま製品になる訳ではありません。何度も試作とテストを繰り返して、改良を重ねてはじめて製品として世に送り出すことができます。

米価の低迷、貿易の自由化など日本の農業を取り巻く環境が激変する中で、農家の方々に喜んでいただける便利で低価格な機械を提供できるよう、今後とも努力していきます。

### 法面草刈機の生産工程

#### 1 設計

(要望に合わせて機械を設計します)



#### 2 試作・テスト

(機械を試作し、性能を確認します)



#### 4 検査・出荷

(性能・品質を検査し、出荷します)



#### 3 生産

(安心して使っていただける製品に仕上げます)



最新型の法面草刈機  
「カルモデラックス」

### [企業の概要]

昭和3年創業。昭和30年に株式会社に改め、昭和39年に両羽町に工場を全面移転。昭和62年シートメタル(精密板金)工場の操業を開始する。

商号：株式会社齋藤農機製作所  
住所：両羽町332番地  
代表者：代表取締役社長 齋藤 博紀  
資本金：6,000万円  
従業員数：137人  
事業内容：農業機械の製造販売  
一般機械の製造販売  
精密板金加工